

2011

根室この一年を振り返る

3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする国内観測史上最大のマグニチュード9.0の大地震が発生し、この地震による大津波は東日本沿岸部を襲い、甚大な被害をもたらすとともに日本各地に大きな爪跡を残しました。根室の花咲港にも、最大波2・8メートルの大津波が押し寄せ、大きな被害をもたらしました。

この「東日本大震災」は、私たちの心に大きな衝撃として残りました。オール根室体制で行う被災地や被災者への温かい支援は今も続いています。皆さんとともに歩んだ今年1年も、あと1カ月を残すだけとなりました。改めて2011年の根室の出来事を、このページで振り返ってみましょう。

1月

- 根室の水産加工会社の加工製品が、ペトナム向け輸出第1号として出荷される。
- 全国さんま漁業協会が、平成22年のサンマ水揚げ最終状況を発表。花咲港が1年で水揚げ日本一に返り咲く。
- 根室市がペトナムへの根室産サンマ売り込みのために、初めて宣伝用にペトナム語版パンフレットを作成。
- 新市立根室病院の完成予想外観パース(鳥瞰図)が、長谷川市長から公表される。
- TBS開局60周年記念ドラマ「南極大陸」の神の領域に挑んだ男と犬の物語」の根室ロケを観光振興につなげるため、市内21団体で構成する根室ロケプロジェクト実行委員会が発足する。

2月

- 国土地理院が平成21年に実施した風道湖周辺及び温根沼地区の湖沼温原調査の内容と成果が報告され、温根沼の湖底の起伏や水架、水中植物の状況などが分かる「湖沼図」が初めて作成さ

3月

- 総合文化会館で開催された「2011北方領土の日根室管内住民大会」に、元島民をはじめ管内住民約千人がごふしを突き上げ、返還運動原点の地から怒りと決意を示す。
- 根室市と市観光協会は、3年ぶりに「流水初日」と「流水接岸」を発表。
- 根室市の戸籍事務の電子化作業が終了し、戸籍情報システムの運用が開始。
- 枝野幸男内閣府特命大臣(沖縄及び北方対策)が北方領土を視察し、元島民や返還運動関係団体との懇談を行う。
- 根室市が、平成23年度から本格的に始動させる「根室再興政策プロジェクト」を公表。

4月

- 11日午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の国内最大規模の巨大地震が発生し、大津波が太平洋沿岸を襲う。根室の太平洋沿岸にも2・8mの津波が襲来し、港や船舶、関連施設、周辺民家に浸水など

の被害を受ける。平成4年に造られた花咲港の防波堤を越えたのは、今回の津波が初めてとなる。

- 函舞地区4小学校の統合が決定し、地域と関係5小中学校のPTA、市教委が「函舞地区小学校統合に関する覚書」に調印。

5月

- 根室出身の力士若天狼が、日本相撲協会に引退届を提出。
- 根室市漁業被害対策会議で、津波などによる1次的被害が42億円、2次的な経済的影響額が約169億円となり、合わせて210億円を上回る被害となることが明らかに。
- 市議会臨時会で、東日本大震災に見舞われた地域等に対する支援活動のための13項目にわたる「根室市東日本大震災被災地等の支援に関する条例」が全会一致で可決される。
- 長谷川市長が、道と国に対する根室市の要請団を、はじめとする東日本大震災の被害等に伴う支援を受けるための要請活動を行う。